

コイズミグループ社会貢献活動 「第7回デスク・家具調コタツ寄贈活動」がスタート

コイズミグループの社会貢献活動、デスク・家具調コタツ寄贈活動（第7回）が3月27日から始まりました。今回の開催地は四国地区。3月28日には松山市の児童養護施設「松山信望愛の家」にて贈呈式が開かれ、冒頭の創業300周年の動画上映の

あと、小泉産業の矢本取締役による挨拶と目録の授受、次に小泉成器の澤井取締役による感謝状の授受と挨拶が行われました。今回驚いたのは、講堂のステージに飾られた満開の桜の大きな絵です。感謝の気持ち伝えるため、この日に向けてみなさん

で描き上げてくださったとのこと。そしてもう一つのサプライズは、子どもたち全員が制服姿で列席してくれたことです。「せっかく大切なものをいただくのですから」という、施設長さんをはじめみなさんのお気遣いがひしひしと伝わってきました。

贈呈式のあとは恒例となった「あかり教室」を開催。コイズミ照明高松(営)の秋田さんと久保田所長によって、あかりや電気の基本知識がクイズ形式で披露されるとともに、最新のLED事情も紹介されました。iPadによる操作体験には大勢の行列。当初「子どもたちに教えるのは初めて」と不安気味だった秋田さんが、「やった!」と感じたことは想像に難しくありません。

その後、今回初の試みとして「ドライバー教室」も開催されました。小泉成器高松(営)の尾北所長がダブルファンドライヤーについてその原理と効果をわかりやすく説明。体験コーナーでは髪の長い女の子も集まって、その風量に驚いたり、なるほど実感したり…。2つの教室によって、コイズミの商品の広がりを見なさんにお伝えすることができたと思います。

贈呈式における四国ブロックの梶原会長の謝辞が心に残ります。「施設の子供たちは大人に対する不信感が多い。この子供たちにとって、いい大人に出会えることが一番大切。今日はそういったたくさんの大人の人たちに出会えました。これもこの事業の大切なところだと思います」。このことばを裏切ることのないよう日々精進しなければと感じました。



● 全員で組み立て。説明書なしでも組み上げていく子どもたち。さすがマニュアルレス世代。



● 贈呈式に子どもたちはみんな制服で参加



● これからもっと勉強する人! ? →ハイ!



● あかり教室講師の秋田さんとアシスタントの久保田所長



● LED 操作体験の行列



● 澤井さんのリードで組み立て作業は着々



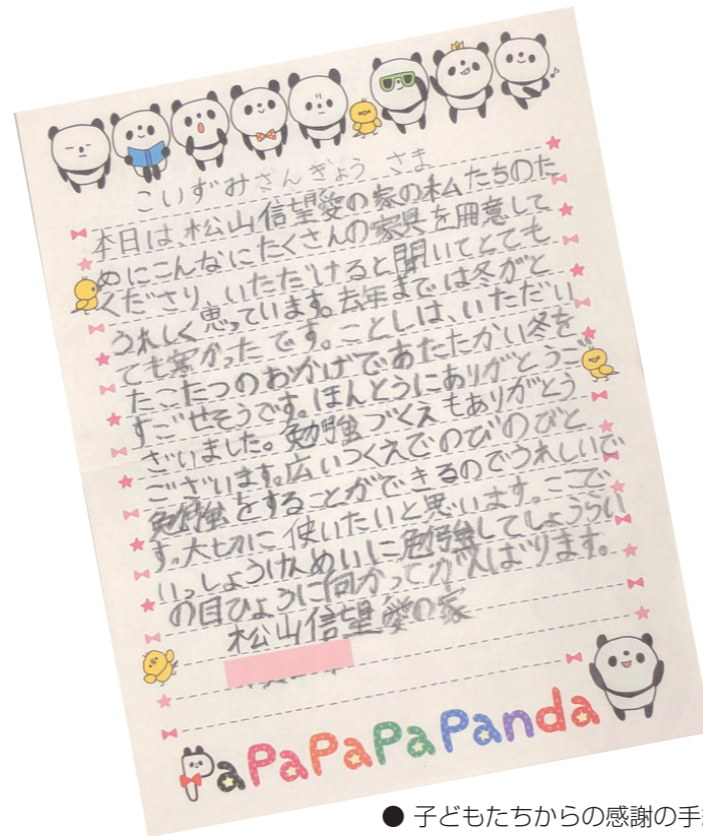
● 全養協四国ブロックの梶原会長(左)と矢本さん。後ろの絵が圧巻です。



● 子どもたちの手元を見守る尾北さん



● 子どもたちと息を合わせる矢本さん(左)と阿尾さん



● 子どもたちからの感謝の手紙



● 感謝状を受け取る澤井さん



● ドライヤー教室の尾北講師



● 風量に納得する子どもたち